

現業協だより No.16



福島県職員連合労働組合現業協議会 2022. 7. 22

県職連合2022現業・公企統一闘争勝利総決起集会！！



6月25日(土)2022現業・公企統一闘争総決起集会が開催されました。

県職連合大内書記長のあいさつに続き、現業協小林事務局長から闘争の提起がされました。

基本的目標＝「住民の未来に貢献できる、自治体責任による質の高い公共サービスの確立」

現業・公企統一闘争を通年闘争にしてから、全国的に技能労務職員の採用が増加していること等の全国的な状況、本県の職場の実態を報告し、これからのたたかいについて具体的な提起がされました。6月3日には「人員に関する要求書」を提出し、2次闘争に向けた様々な取り組みの強化と非現業職員から必要とされるために、日々の業務のあり方を見直すよう示されました。

続いて、現業協田中会長、企業局労組高松委員長、病院局労組柳田委員長、大内青年部長、羽賀女性部長、衛生部会川村部会長、農業総合センター堀越部会長から決意表明がされました。その中で、現業職員の存在が非現業職員



の業務を支えていることや、不足している資格職を補うために現業職員が必要だという、現場からのありがたい「声」を聞くこともできました。

最後に大内書記長の団結ガンバローで県職連合2022現業・公企統一闘争勝利総決起集会は終了しました。

今後の予定

7月23日(土) 県本部現業評議会第2回幹事会 郡山市労働福祉会館

7月24日(日) 自治体現場力と公共サービスを実現する集会 WEB開催

8月28日(日) 東北地連拡大幹事会 宮城県

9月17日(土) 第86回県本部現業評議会定期総会 会津若松市

※各種集会が開催されますが、感染対策を施して開催されます。積極的な参加をお願いします！

編集後記

県内の市町村は深刻な人手不足です。あわせて、現業職員が職場に居て欲しいという多くの声を市町村職員から聞く事ができました。しかし、市町村は県の動向を見て対応するしかないそうです。私たちの取り組みが県内の各市町村に波及することを認識し、あきらめずに今一度県職連合に結集しましょう！！特に若手の方にお声かけをお願いします！！

2022現業協議会学習会を開催

現業・公企闘争総決起集会後、学習会を開催しました。

県本部紺野組織部長を講師に迎え、「誇り高き、現業職場をめざして」というテーマで講演をいただきました。紺野組織部長は、福島市職出身で現業職です。福島市職は組織率が高く、役員体制も確立していることから、担い手不足に陥っている現業協のために、時間を設けていただきました。紺野組織部長から、特別なことをするのではなく、毎日の仕事の中で声をかけ、コミュニケーションをとり、さらには、自分たちがあたり前に使っている権利は先輩の努力があつてのもの。それを引き継いでいくために運動を停滞させてはいけない。一緒に頑張っていきましょう！と熱い講演をいただきました。



現業協も、ここ数年若手組合員が増えています。職場では、課題が山積していますので、若い組合員が定年まで安心して働ける職場作りを目指すためにも、若手組合員の運動参加にお声かけをお願いします。

現業職場の課題（抜粋）

- 1 仕事がきつくて再任用ができずに退職する組合員が増えています。特に農業総合センター関係では、再任用職員が技術継承をすることが前提で45名体制になっています。現状では技術継承が困難です。早急に現業協要求55名に近づける必要があります。
※若い、農場・動物管理員の組合活動への参加が急務です。
- 2 道路パトロール業務の委託費は高騰しています。
現場を知っている職員が居ない、現場を民間に丸投げは危険です。今一度、直営に向けて取り組む必要があります。
- 3 運転手が高齢化しています。今後の配置について、県当局と話し合いをする時期です。
- 4 動物愛護センターの設置により、管内が広域化し1日の走行距離が200キロを超える日もあります。放浪犬の捕獲などは、長年の経験が必要です。すでに技術の継承が途切れてしまっている公所もあります。増員配置を要求する必要があります。
- 5 病院調理職場では非正規職員が増加しています。本当に患者さまのことを考えれば、調理師資格を持った正規職員を配置するべきです。
- 6 会計年度職員が集まらないからといって、時給を2,000円以上にすること。正規職員の方が安いにも関わらず無駄な税金を使うことは問題では。



現業職員は県民のために現場で汗を流しています！！現場力を強化することは
住民の未来に貢献できる、自治体責任による質の高い公共サービスの確立
に直結します。あきらめずに、基本組織の県職連合運動にも積極的に参加してください！！

